

令和6年度

愛知県立農業大学校



学 校 案 内

農業をささえる担い手を育成しています



大 学 校 の 概 要

本校は、農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として農業後継者や農業の担い手を養成する県立の施設です。

昭和9年追進農場に端を発し、追進営農大学校、農業技術大学校との統合等、時代とともに変遷し現在に至り、県内で活躍している多数の農業経営者並びに農業技術者を輩出してきました。平成20年度に、教育部農学科は、学校教育法に基づく「専修学校」になりました。

目 的

農業後継者及び農業の担い手等に対し農業の実践教育及び研修を行い、本県農業の振興に寄与する。

目 標

- 1 農業者としての自信と誇りの醸成
- 2 農業に関する知識・技術・技能の習得
- 3 経営管理能力の養成
- 4 洞察力・応用力・創造力及び協調性の養成

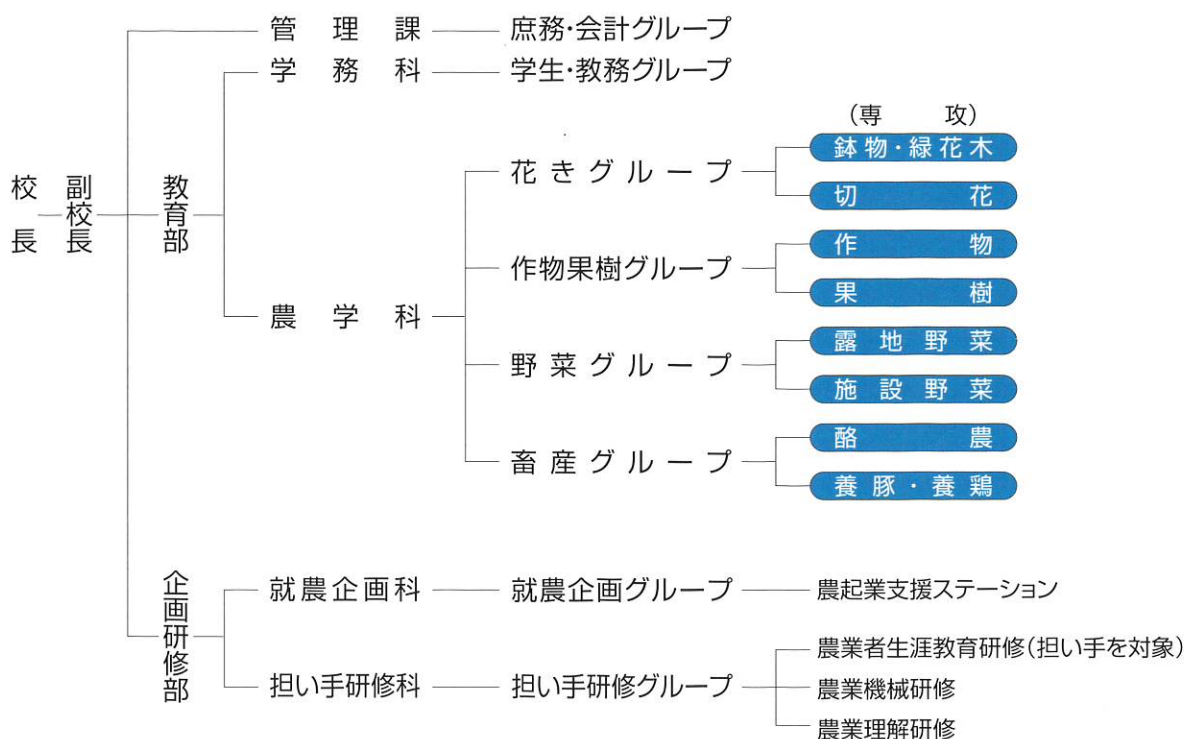
教育部

農学科 ● 高等学校若しくは中等教育学校卒業者を対象に2年間の全寮制による実践教育を基本として、一般教養や農業の基礎的・専門的教育また先進農家への派遣実習等を通して農業の担い手を養成します。**学校教育法に基づく専修学校で、卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。**

企画研修部

農業者には発展段階に合わせた知識・技術・技能を習得するための研修、県民には食料・農業に理解と関心を深めるための研修を行います。

組 織



職員数

校 長	副校長	管理課	教 育 部		企 画 研 修 部		計
			学務科	農学科	就農企画科	担い手研修科	
1	1	7 (2)	11 (6)	24 (5)	4	10 (6)	58 (19)

※教育部長は学務科の人員に含みます。 ※()内数字は再任用・非常勤職員数で内数です。

施設設備の概要

本学は、水田(3.3ha)・果樹園(2.2ha)・普通畑(8.6ha)の実習ほ場、充実した実験実習の施設・設備及び公安委員会指定運転試験コースを備えています。



中央教育棟



情報処理研修室



図書室



大講義室



教室棟



体育館



鉢物・緑花木温室



切花温室



露地野菜ほ場



施設野菜温室



作物ほ場



果樹園



バーラー施設(フルーオール牛舎)



システム豚舎



鶏卵出荷調整



和耕寮



農業機械施設



トラクター運転コース

教育部農学科

特徴

- 教育内容は主に農業経営者を目指した一般教養、専門科目の履修を行います。
- 専攻別に分かれ、少数精鋭の実習を主体とした実践教育を行っています。
- 2年間の全寮制です。なお、平成27年度に新寮が完成しました。
- 先進農家への派遣実習を実施しています。
- 1人1課題を設定しプロジェクト学習に取り組んでいます。
- オーストラリアにて7日間の海外派遣研修(ファームステイ)を実施しています。

行事・学習等

「農と食」の担い手にふさわしい知識と技術の養成を目指したカリキュラムが組まれています。



教室授業風景



海外派遣研修



体育祭



収穫感謝祭



卒論発表会



進路セミナー



学生寮の食堂



お昼のメニュー



東海近畿スポーツ大会



農大祭



専攻実習



入学式



卒業式

専攻・学習等

実践力を養うための多種多様な実験実習、演習、実習科目をそろえています。

●鉢物・緑花木専攻

ガラス温室4棟、遮光ハウス1棟、露地ほ場などで、鉢花・観葉植物・洋ラン・緑花木・花壇苗等、多くの品目を栽培しています。

温室管理、灌水、施肥、病虫害防除等の栽培管理全般を学習するほか、市場出荷や直売を行うことで、販売方法やマーケティングについても学んでいます。

1年生の2学期には、鉢花・観葉・洋ラン・緑花木の部門に分かれ、少人数体制による細やかな指導の下で、実践的な知識や技術を習得します。

2年生になると、担当する部門で責任を持って栽培管理に取り組みながら、プロジェクト学習を行います。近年のテーマは、省力化、低コスト化、商品価値の向上、新商品開発など多岐にわたっています。



●切花専攻

4棟のガラス温室や繁殖室、露地ほ場で、キクを中心に、バラ、カーネーション、ストック、ヒマワリなど、県内で生産の多い品目を栽培しています。一部の施設には、LED補光や炭酸ガス施用、高圧ミスト、ヒートポンプ暖房などを導入しています。

1年生の9月までは、すべての栽培品目について栽培管理を学び、10月からはキク、バラ及び洋花の3部門に分かれ、責任をもって栽培管理に取り組みます。生産状況を観察しつつ、必要な作業を学生と職員がともに考えながら学習を進めていきます。

1年生の後半からは、プロジェクト学習に取り組みます。テーマは栽培方法、品種比較、切花の染色方法の検討など様々ですが、いずれも単なる調査ではなく、品質向上やコスト低減、商品性向上など実際の農業経営の改善につながる課題を取り上げます。



●作物専攻

1haの大区画水田など大小9区画、計3.3haの水田ほ場で大型機械を利用し、水稻、小麦、大豆の栽培に取り組んでいます。また、育苗施設や乾燥調製施設を利用し、育苗から生産物の調製まで実習で行います。さらに、収穫物を利用した味噌や五平餅などの加工実習も行っています。

1年生では水稻栽培や機械操作の基本知識を身に付ける実習を進めています。

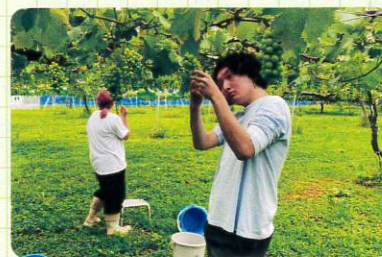
1年生の後半からプロジェクト学習が始まります。本校では農業総合試験場が開発した新品種や新技術をいち早く導入しており、これを題材にした新品種の栽培法、不耕起V溝直播栽培や稲WCSに関する課題、化学農薬・化学肥料を使用しない栽培など付加価値の高い生産方法等に取り組んでいます。また、ICTを用いた営農支援システムを活用した農業経営手法についての学習も行っています。



●果樹専攻

果樹専攻は約2.5haのほ場で、ブドウ、ナシ、モモ、カキ、ハウスミカン、ハウスイチジク、ブルーベリー等を栽培しています。2年生を中心に構成される少人数の6つの品目担当(班)が1年間の目標や課題を掲げ、各品目ごとに栽培、販売、加工など主体的に取り組めます。この各品目班を一つの経営体と見立てた模擬経営と農大産出品のブランド化に向け、学生による様々なアプローチが試みられています。1年生は先輩の取り組みや派遣実習を通じ技術や考え方を学び、2年生は培った力で判断し周りに指示を出し各品目班(専攻)を回していきます。

また、県内果樹農家への就農を希望する学生が新規就農や雇用就農を目指せるよう、経営感覚を培う実践的な実習、師弟関係を築く農家派遣実習、地域への入り口となる産地との連携等を支援しています。



教育部農学科

専攻・学習等

●露地野菜専攻

露地畑1.5haでキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に県内の主要野菜に加え、新品目も取り入れて約40品目程度を栽培しています。また、イチゴは本専攻で取り組んでおり、高設栽培においてICTを活用した施設内環境のモニタリングを行っています。

露地野菜の実習は、天候に左右され、作業時間が長く大変ですが、農業機械を駆使して2年生と1年生が協力して取り組んでいます。

プロジェクト学習は、2年間で1人2課題を実施します。学生自身が品目と研究テーマを決めて試験設計及び栽培計画を立て、播種から収穫・調製まで責任を持って管理しています。学生は実習やプロジェクト学習を通して、農作業機械の操作方法や実践的な栽培技術、経営管理能力を習得します。

今年度のプロジェクト学習のテーマは、「ナスの誘引角度の研究」、「ブロッコリーにおける地床苗とセルトレイ苗での生産品質の違い」などです。



●施設野菜専攻

本専攻は11棟ある温室で、トマト、ナス、キュウリ、温室メロンを中心に栽培しています。最近では、土耕栽培に加えて、水耕栽培、ココバッグ栽培、袋培地栽培、少量培地密植栽培など、県内の現場で普及している最先端の栽培システムを導入しています。また、農業総合試験場や種苗会社と連携を図り、今後普及が見込まれるナスの単為結果性品種やトマトの耐病性品種の適応性試験など最新技術の実証栽培に取り組んでいます。さらに、トマト栽培では、炭酸ガス発生装置、ミストなど環境制御機器を導入したICT温室が整備されています。

本専攻では、1年生の前期は主要品目の基礎栽培について幅広く学び、後期から卒業までの間に自分の希望する品目について研究テーマを設け、より専門的な実践技術を習得しています。

プロジェクト学習では、2年間で1人2課題を実施します。本年度は「ICT温室におけるトマトの適切な日射比例かん水制御方法の検討」、「ナスの炭酸ガス局所施用による増収効果の検討」などに取り組んでいます。



●酪農専攻

4つの牛舎でホルスタイン種の搾乳牛約20頭、育成牛約20頭、肥育牛約10頭および繁殖和牛5頭を飼育しています。また、自給飼料として牧草やトウモロコシ等を生産しています。

学生は、酪農を中心に肥育牛を含めた飼養管理技術を習得します。在籍する学生のうち約4割を女性が占めます。ほとんどが非農家出身者であり、多くの学生がここで初めて本格的な酪農作業を経験します。

初めて牛に触れる新入生も、2年生の助言を受けながら搾乳や給餌、除糞など基本的な管理作業を習得し、牛の扱い方に慣れていきます。酪農家や外部講師を招いて講義を受けたり、農協などの関係機関や団体の支援を得て牛の共進会に出品する技術を磨きます。2年生はより高度な技術習得とともにプロジェクト学習を行います。テーマは搾乳牛や子牛の飼養管理、繁殖、環境問題など多岐にわたります。



●養豚・養鶏専攻

最近では県外出身者を含めて在籍する学生が増え、賑やかになっています。1年生の4月は養豚、養鶏の両方を学びますが、5月には本人の希望に沿って、豚と鶏のコースに分かれ、それぞれの飼養管理を習得していきます。

養豚コースでは、県の系統豚であるアイリスを用いて豚の交配から肉豚出荷に至るまでに必要な技術と知識を学んでいます。また、深部注入人工授精やホルモン剤による発情の同期化など、新しい技術も積極的に取り入れています。

養鶏コースでは、開放・ウインドウレスの2種類の成鶏舎で名古屋コーチンを主体とした採卵鶏の飼育管理と、ウインドウレス育雛舎で初生雛からの育成管理を学びます。また、毎週水曜日の実習販売では、鶏卵の直売を通して販売管理を経験し消費者のニーズに触れることができます。



年間教育計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	入学	学習 期間			夏 休	学習 期間	派遣 実習		学習 期間	冬 休	学習 期間	春 休
2年	春 休	学習 期間			夏 休		学習 期間		冬 休	総括 学習	海外派遣 研修	卒 業

教育科目 ● 講義(17.5%) 演習・実験(26.3%) 実習(56.2%)

教養科目 ● 暮らしと経済 暮らしと法律I 自然科学 生物学実験 実践英語 体育

専門科目 ● 農業経営I 農業政策I 農業簿記 土壌肥科学 経営管理
 経営管理演習 農業基礎演習 農業機械利用 情報処理演習 育種と採種
 農業機械実習 GAP・環境保全と農業 植物生理 病害虫と防除計画
 土壌と施肥設計 家畜栄養 家畜育種 家畜繁殖 家畜生理
 飼料・環境保全 海外派遣研修 農家派遣実習 卒業論文 スマート農業技術
選択科目 ● 暮らしと法律II 労働の科学 健康と栄養科学 農業経営II 実用数学
 農村生活環境 作物学概論 園芸学概論 文章表現 農業時事
 畜産学概論 農業政策II
 資格取得講座(毒物劇物取扱者、危険物取扱者、ボイラー取扱者、大型特殊免許等)

資格・免許 ● 在学中に取得することができる資格、免許
 毒物劇物取扱者 大型特殊・けん引免許(農耕車限定) 危険物取扱者 ボイラー取扱
 小型車両系建設機械 フォークリフト 刈払機 家畜人工授精師 日本農業技術検定

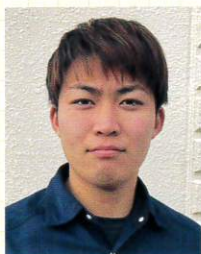
学費等(1年間)

入 学 金 5,650円(入学時のみ) ※令和5年度の金額です。

授 業 料 60,000円

寄宿舎使用料 32,400円

(左記の他に、教材費(海外派遣研修費用を含む)・光熱水費等として実費相当分(500,000円程度)及び寮での食事代が必要になります。)



先輩達からのメッセージ

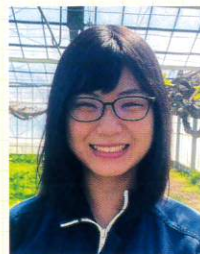
中森 颯飛さん[鉢物・緑化木専攻]

僕の家は、非農家で農業とは無縁の家庭で生まれ育ちましたが、幼いころに見た大きなサボテンに心打たれ、鉢物の生産農家になりたいと思ったのがきっかけで農業高校に進学しました。

高校で実際に植物について学んで、もっと専門的に学びたいと調べ、見つけたのが愛知県立農業大学校でした。

農大のオープンキャンパスに参加し、ここで2年間学びたいと思ったので進学しました。

初めこそ全寮制のため寮生活の不安などがありましたが、三日もすれば慣れてきて、家に帰るより寮で友人と過ごしている方が楽しいと思うようになりました。また、専攻実習では、高校の時よりも自分で考えて動くことがだいぶ増えたため、毎日いろいろな発見があります。新しい環境で慣れないことや不安なことも多々あると思いますが、そんなときは僕たち先輩を頼ってください。なんとかします。一緒に農業大学校で実習をしましょう。



先輩達からのメッセージ

鈴木 ひかりさん[果樹専攻]

農業大学校の魅力を紹介します。

1つ目は「専門分野を深く学べること」です。ここ農大では8の専門科目があり、座学や実習などここでしか出来ない自分の好きな事、学びたい事をのびのび勉強することができます。

2つ目はほかの学校ではあまりない「全寮制」ということです。共同生活ということもあり、初めは不安や期待で胸がいっぱいでした。実際入ってみると色んな境遇の友達ができたり、自分好みに部屋をアレンジしてみたりと今では毎日楽しく過ごしています。

3つ目は「学校行事」です。特に大きいイベントに12月に行った農大祭があり、専攻ごとに自分たちで栽培・育てたものを使い、屋台に出して一般のお客さんや地域の方に販売しました。

卒業前の1月末には海外派遣研修としてベトナムやオーストラリアに行き、農業を学びながらホームステイを体験し、多くの思い出を作ることができます。

ぜひ私たちと一緒に楽しく農業について学んでみませんか!!

教育部農学科

卒業後の主な進路

- 就農 50%程度 (自営、雇用就農、将来予定含む)
- 就職 40%程度 ●進学、その他 10%程度
- 主な就農・就職先 (順不同、令和3～5年度実績、一部に研修を含む)

農業法人関係 ●	服部農園(有)	(株)扶桑農産	(有)ゴトーアグリ	(株)コトモファーム
	(有)鍋八農産	(株)山銀	(有)あぐりサービス	(有)ジャパン・アグリ・ベンチャー・ユニット
農協関係 ●	(株)ドリームフィールド	(有)みずほ農産	(有)エル・ファーム・サカキバラ	(株)太田商店
	(有)環境テクシス	(株)星川畜産	(株)ウイングブー	
農業関連企業関係 ●	JAあいち経済連	JAあいち尾東	JAあいち知多	JA愛知西
	JAあいち中央	JA西三河	JAあいち三河	JAひまわり
青果物等流通関係 ●	JA蒲郡市	JA愛知みなみ	JA豊橋	豊橋温室園芸農協
	東海酪農農協連			
公務員関係その他 ●	(株)東海近畿クボタ	ヤンマーアグリジャパン(株)	(株)中セキ関西中部	(株)ホームセンターアント
	クラギ(株)	(株)中神種苗店	(株)野崎採種場	(株)坪井花苑
公務員関係その他 ●	イノチオHD(株)	JA全農ミートフーズ(株)		
	(株)名港フラワーブリッジ	中部グローバル青果(株)	セントライ青果(株)	(株)ユニバーサル園芸社
公務員関係その他 ●	愛知県職員(家畜飼養管理員)		愛知県職員(農場員)	
	愛知県農林高等学校実習助手		愛知県一般職非常勤職員(畜産総合センター)	
公務員関係その他 ●	(一財)日本穀物検定協会		(公財)豊橋みどりの協会	

●主な研修・進学先 (令和3～5年度実績)

研	修 ●	国内研修(農業法人 先進農家) 海外研修(アメリカ)
進	学 ●	4年制大学農学系学部3年次への編入(信州大学 島根大学 人間環境大学 酪農学園大学 他) 日本農業経営大学校 千葉県立農業大学校 タキイ研究農場園芸専門学校



先輩達からのメッセージ

加古 翔佳さん[露地野菜専攻]

私は、今毎日がとても充実し幸せな時間を過ごすことができています。

そんな私が、愛知県立農業大学校の魅力をお伝えします。私たち露地野菜専攻では、スイートコーン、キャベツ、イチゴなど多くの幅広い品目を栽培しています。仲間と一緒に播種から栽培管理まで行った野菜を収穫・出荷することができた時のあの達成感を実際に体験した人にしか味わうことができないと思います。

また寮生活ではおはよう、おやすみ、おかえりといった会話があちこちから聞こえ、まるで家族のように過ごすことができます。初めは不安だった寮生活も一週間もすれば慣れてきて金曜日夜へ帰ると賑やかな寮が恋しくなります。そのほかにも、毎週水曜日にある直売、毎年大盛り上がりな農大祭など魅力満載です。

あなたも愛知県立農業大学校に入学し充実した二年間を過ごしてみてはどうですか？



先輩達からのメッセージ

高橋 鼓太郎さん[養豚・養鶏専攻]

私の家は非農家で、高校も普通科の学校でした。しかしある漫画の影響を受け、元々小さい頃から動物が好きだったこともあり養鶏の道を進もうと考えていたところ、高校の先生、そして両親にこの学校はどうだろうかと愛知県立農業大学校をすすめてもらいました。

農業大学校では周りが農業高校出身ばかりで初めはついて行くのがやっとでしたが、先生の助けもあり今では多くの管理を任せてもらえるようになることができました。

寮生活も、最初は不安を感じていたのですがすぐに慣れ、楽しく過ごせるようになりました。農業大学校で得た友達は卒業後も繋がっていくかけがえのない存在になると思います。

知識、経験、様々なことが得られる学校です。

直売や派遣実習など得がたい経験も味わえるので少しでも興味を持った人、迷っている人はぜひ来てください。

海外派遣研修

農学科では、国際性を身につけ、グローバルな視野で農業を見る感覚を習得する目的で、2年次に1週間の海外派遣研修を実施しています。例年、オーストラリアでのファームステイを通して、現地での食生活や生活習慣、農作業等を体験します。専攻別視察では、現地の農家等を視察し、農業事情を学びます。

また、市場を見学する中で日本の市場との違いやマーケティングについても学びます。

初めて海外に行く学生も多く、通常ではできない経験や、ホストファミリーとの英会話を通して、自身で培ってきた語学力を試す良い機会ともなり、将来の就農・就職等において有意義な研修となります。



農家派遣実習

先進農家等の優れた知識・技術を体験させ、今後の勉学に役立たせる目的で、1年生時の9月中旬から10月下旬の約40日間にわたり農家への派遣実習を行います。

派遣実習は宿泊もしくは通学で研修を行い、農家生活を体験します。実践的な生産技術や経営方法、経営観に触れるとともに、多くの関係者と交流する機会を得て地域との関わりを知り、本校にいてだけではわからない農業を肌で感じ学ぶものです。また、農業について漠然としたイメージしか持っていない非農家学生が実際の農業経営に触れる事により、将来自分の進むべき道が農業か否か、またどんな経営に携わりたいのかを選択する、いわばインターンシップとしても位置付けています。

派遣実習に参加した学生からは、「大変ながらも貴重な体験をした」「学校では学べない知識技術を知った」の他、「コミュニケーション能力の大切さが身に染みてわかった」「自分の甘さを知り今後の自分を鍛え直したい」などの感想が寄せられています。



卒業生からのメッセージ

尾崎 嵩仁さん[令和5年度卒業]

私の実家は西尾市で米、麦、大豆を栽培しています。しかし、私が農業に興味を持ち始めたのは、高校生の時で、農業の事はほとんど知らない状態で、農業大学校へ進学しました。

入学当初は、分からないことばかりでしたが、先生や先輩の方が、分かりやすく丁寧に教えてくださったので、その不安も一気に無くなりました。

私が所属していた作物専攻では、栽培品種や方法が異なる水田が9枚あり、2年生は1人1枚の水田を担当します。専攻実習では、自分達で栽培方法や作業の内容を考えなくてはならないので、自主性を身につけることができます。

また、寮生活では、初めての一人暮らしという事もあり、不安はありましたが、実際の寮生活は、楽しい事しかありませんでした。

農業をやったことはないけど、興味はあるという方、実践的な農業を学ぶことが出来る農業大学校に入学してみてもどうですか？農業を学ぶと同時に、多くの仲間ができますよ！



卒業生からのメッセージ

清水 一将さん[平成12年度卒業]

私は刈谷市で総飼養頭数300頭、年間1,500トンの生乳を生産する酪農家で、酪農教育ファームへの参画やインターンシップ、農大派遣実習の受け入れも行っています。

私の実家は酪農家でしたので、幼少期から牛に触れ合い、また、高校時代は様々なアルバイトも経験しましたが、高校卒業に際し、「祖父の代から続く家業を継ぎ、経営を活性化させたい。」という思いを抱き、農大への進学を決意しました。

最近では入学生のうち、非農家の学生が大半だと聞いていますが、農大では牛の繁殖から生乳の生産、飼料給与、糞尿処理、人工授精など基礎的な内容から専門的な内容まで学ぶことができます。特に、専攻実習では一連の管理を学生が受け身ではなく主体的に行うため、しっかりと知識や技術が身に付きます。

更に、農大で学ぶことにより、地元で農業や関連する仕事に携わるかけがえのない仲間とのつながりができます。

農大で学び、農業に関係する業界の仲間になりませんか。

清水さんは、令和5年度愛知農業賞(あいちアグリアワード)を受賞しています。

教育部農学科

学生寮での生活

農学科の学生は、全寮制による共同生活を送ります。学生寮は、平成28年1月に建て替え、「和耕寮」と名付けられました。全室個室で、各部屋にはエアコン、ベッド、学習机、クローゼット、Wi-Fiが設置されています。共同施設として、トイレは全て洗浄便座付きの洋式で、男女別の大きな浴場があります。食事は、寮に併設された食堂で休日以外の朝・昼・夜の三食をとることができます。この他にも友人と歓談できる共有スペースも設置しており、快適な生活を送ることができます。



農大祭

農業大学校最大の行事が農大祭です。地域の皆様との交流を図り、愛知県の農業の魅力を県民の皆様にご覧いただくことを目的に毎年12月の第1土曜日に開催しています。農大生が丹精込めて育てた自慢の農畜産物の販売や学生手作りの加工食品のバザー、農業大学校に関わる農業団体・企業の出展、農大キャンパスツアーなど、農業大学校を身近に感じて楽しんでいただける催しを行います。

令和6年度は12月7日(土)に開催します。



〔令和5年度の主な販売品目〕

花き：シクラメン、シンビジウム、ハボタン、キク、バラ

作物：コシヒカリ、あいちのかおり、ミルクQueen、もち米

果樹：ナシ、ブドウ、カキ、ジャム

野菜：キャベツ、ダイコン、レタス、トマト、ナス、キュウリ

鶏卵：名古屋コーチン、紅白ミックス等の各種鶏卵

クラブ活動

農業大学校では、学生生活を健全で有意義なものとするため、学生が組織するスポーツ・文化・教養等のクラブ活動を支援しています。

令和6年4月現在、次のクラブがあります。

【体育関係】

野球、テニス、陸上、フットサル、バレーボール、
バスケットボール、バドミントン、卓球

【文化関係】

茶道、軽音楽、写真、農業商人塾、ボードゲーム、手芸



また、東海近畿地区の9校の農業大学校生が一堂に会して行われる「東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会」では、クラブの部員が中心となって参加し、毎年優秀な成績を収めています。

令和5年度大会は兵庫県で行われ団体競技で野球、バレーボールの2競技で優勝したほか、個人競技では、バドミントンで男子シングルスと女子ダブルスの種目で優勝しました。

オープンキャンパス

農業大学校への理解を深めてもらうため、オープンキャンパスを開催します。

- 内容** ● 農業大学校の概要説明、校内見学及び受験相談
対象 ● 農業大学校への入学に関心のある方及び県民の皆様
開催日 ● 第1回 令和6年 6月 8日(土)
第2回 令和6年 6月22日(土)
第3回 令和6年 7月30日(火)
第4回 令和6年 8月 6日(火)
第5回 令和6年 8月27日(火)

問い合わせ ● 愛知県立農業大学校 教育部学務科 学生・教務グループ
(電話)0654-51-1602(ダイヤルイン)

※荒天等により、中止や変更する場合があります。事前にホームページで確認をお願いします。



参加者の感想・意見

- 農地がとても広くスタッフの人たちの交流も楽しかった。
- とても内容の濃いオープンキャンパスでした。先輩たちがすごく優しく質問に答えてくださったのでとても助かりました。学校生活がとても楽しそうだったので絶対入学したいと思いました。
- 先生方、学生さん達がとても雰囲気がよく、素晴らしいご指導の中で生き生きと学生生活を送っていらっしゃる様に感じました。
- 寮生活や実習等について学生さんの意見もありイメージしやすくなりました。農場一つ一つの規模が大きく大変そうですがやりがいのある環境だと思いました。
- 寮の中が綺麗で、その中でも部屋の廊下が綺麗で良いと思いました。
- 農大の生徒さんが質問にも優しく丁寧に答えてくださり大変満足です。農大のことがよくわかりました。
- とてもわかりやすい説明で、4年制大学と農大の違いがよくわかりました。
- 施設が充実していて2年間楽しく過ごせそうだと思いました。
- キャンパスツアーもいろいろ見学できました。

企画研修部

特徴

- 農業者や新たに農業を目指す人を対象に、農業に関する知識・技術・技能を習得するための「農業者生涯教育研修」を実施します。
- トラクターなどの農業機械を安全・効率的に使用するための「農業機械研修」を実施します。
- 県民を対象に、食料・農業・農村に対する理解と関心を深めるための「農業理解研修」を実施します。
- 本校の施設を積極的に活用して多くの県民が参加できる農業とのふれあいの場づくりを進めます。
- 「農起業支援ステーション」では、県内全域の就農に関する情報提供や就農を希望する人を対象に、就農相談を行います。

農業者生涯教育研修

ニューファーマーズ研修

Uターン就農者、新規参入者を対象に、農業経営に必要な基礎知識・技能の修得を図ります。

農業者育成支援研修

新規就農希望者を対象に、就農に必要な基礎的な経営や技術に関する知識及び露地野菜栽培に関する技能の修得を図ります。

農業技術研修

新たに農業経営を開始したり農業法人等へ就職を希望する離職者等を対象に、約9か月間、農業に関する基礎知識・技術の修得を図ります。

経営管理研修

経営管理能力・分析能力・企画能力・危機管理能力等の向上を図るため、必要な知識・技術の習得を図ります。

生産高度化研修

野菜や畜産など生産部門別に新技術及び経営に関する知識の習得を図ります。

農産物利活用研修

農産物及び農産加工品のマーケティング等を学びます。

G A P 研修

農業経営の改善につながるGAP(農業生産工程管理)の取組を広く普及させるため、必要な知識の習得を図ります。

女性農業者支援研修

女性農業者を対象に、農業経営の向上に必要な知識の習得を図ります。

あいち農業経営塾

優れた経営感覚を備えた農業者を育成するため、経営に関する高度な知識の修得を図ります。



ニューファーマーズ研修



農業技術研修



経営管理研修



生産高度化研修



GAP研修



あいち農業経営塾

農業機械研修

道路交通法に従い、安全に農耕車を運転する免許を取得します。

大 特 免 許 研 修

けん引免許研修

トラクター作業研修

労働安全衛生法に基づく資格を取得します。

フォークリフト研修

小型車両系建設機械研修

刈 払 機 研 修



大特免許研修



小型車両系建設機械研修



フォークリフト研修

農業理解研修

県民公開講座

県民を対象に、農業理解を深めるために実施します。

農業体験学習

児童、生徒等を対象に、体験による農業学習を行います。

農福連携支援研修

障害者就労施設等職員を対象に、野菜栽培基礎の習得を図ります。



県民公開講座



農業体験学習



農福連携支援研修

就農相談

農起業支援ステーション

県内の就農相談窓口として、令和3年4月に企画研修部就農企画科内に設置されました。

県内8か所の農業改良普及課内に設置されている「農起業支援センター」と連携して、新規就農希望者の就農相談や就農に關する情報提供等、円滑な就農に向けた支援を行います。

主な業務

- 定期的な就農説明会の開催
- 個別就農相談の実施
(県外の遠隔地の就農希望者にはリモート相談)
- 就農に関する各種情報の提供

など



就農説明会

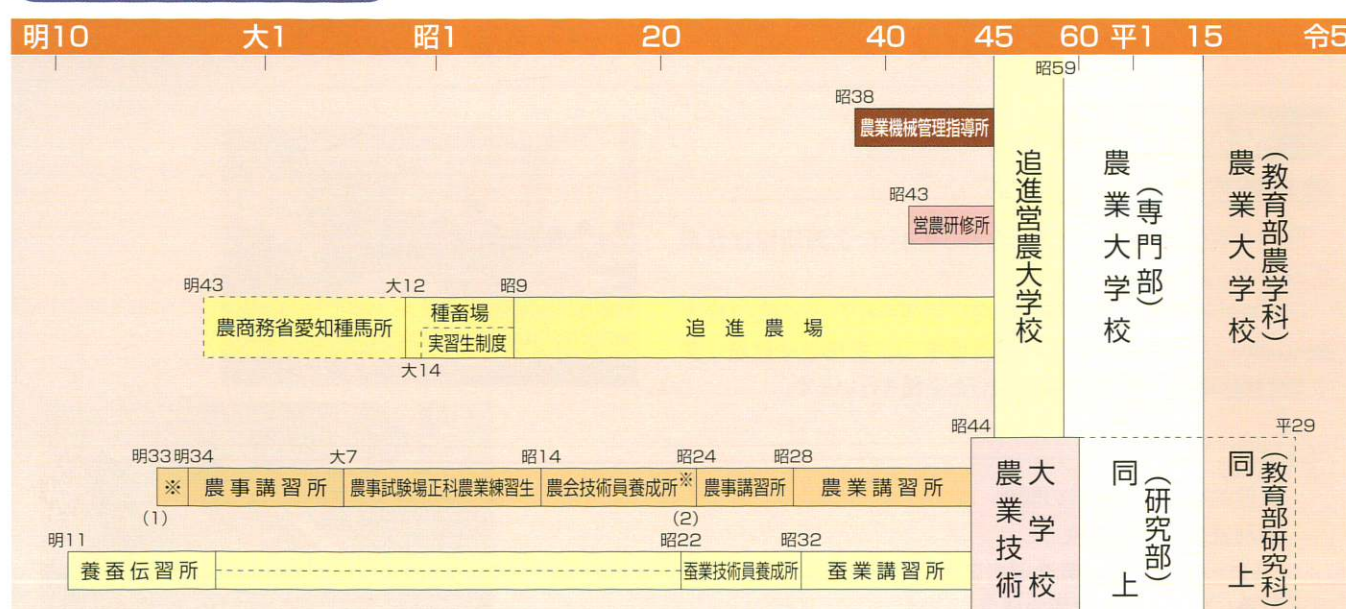


就農相談

●総面積37.5ha

施 設		棟数・面積等
中央教育棟 教室等 体育施設 学生寮・食堂 旧本館		1棟 2,500㎡ 教室棟1棟 2,313㎡、追進館1棟 490㎡、バイテク馴化温室1棟 214㎡ 体育館1棟 821㎡、運動場 11,880㎡ 和耕寮1棟 4,722㎡ 1棟 835㎡(西三河農林水産事務所農業改良普及課岡崎駐在室)
専 攻 別 施 設	鉢物・緑花木 切花物	管理棟1棟 110㎡、温室4棟 1,240㎡、遮光施設 302㎡、資材棟1棟 231㎡、緑花木ほ場 3a 温室4棟 1,251㎡、繁殖室 255㎡、出荷調整室1室 117㎡、露地ほ場 2a
	果 樹	管理棟1棟 207㎡、作物収納庫 102㎡、水稻育苗室1棟 113㎡、水田 330a、 米乾燥調製学習施設1棟 63㎡
	露地野菜 施設野菜	管理棟1棟 211㎡、附属施設1棟 17㎡、ブドウ園 80a、ナシ園 40a、カキ園 98a、モモ園 30a、 ブドウハウス1棟 520㎡、ミカン・イチジクハウス1棟 648㎡、ブドウパイプハウス 1,214㎡ 管理棟1棟 134㎡、野菜畑 150a、イチゴハウス1棟 475㎡、育苗ハウス 475㎡
		管理棟1棟 151㎡、温室6棟 2,430㎡、育苗施設1棟 360㎡、ハウス4棟 1,440㎡、 ボイラー室1棟 24㎡
施 設	酪 農	管理棟1棟 137㎡、乳牛舎1棟 1,074㎡、肥育牛舎1棟 432㎡、育成牛舎2棟 1,271㎡、 ハーベストサイロ1基、わら庫1棟 202㎡、飼料敷料庫1棟 393㎡、家畜糞尿処理施設1棟 368㎡、 堆肥舎1棟 165㎡、飼料作物ほ場 575a
	養豚・養鶏	管理棟1棟 65㎡、システム豚舎1棟 393㎡、堆肥発酵施設1棟 222㎡、繁殖豚舎1棟 204㎡、 畜産雑排水処理施設 704㎡、ウインドウレス成鶏舎1棟 162㎡、ウインドウレス育雛舎1棟 93㎡、 モニター式開放鶏舎1棟 180㎡、鶏卵検査施設1棟 177㎡、鶏糞処理施設1棟 220㎡
研修用施設	農業機械施設	機械研修棟1棟 324㎡、機械教室1棟 143㎡、機械庫2棟 813㎡、作業機庫1棟 300㎡、 給油取扱所2棟 37㎡、運転管理室1棟 45㎡、運転コース1面 13,662㎡、トラクタ 15台、 作業機 36台等
生産物流通管理施設		1棟 680㎡

沿革



注(1) ※農事研究生制度(農事試験場内) (2) ※昭和19年愛知県農業技術員養成所と改称

愛知県立農業大学校平面図



学生募集に関する詳細は、愛知県立農業大学校教育部学務科(電話0564-51-1602)又は最寄りの農林水産事務所農業改良普及課へ問い合わせてください。

なお、募集案内等、出願に必要な書類の郵送を希望する人は、『学生募集案内希望』と朱書し、あて先明記の返信用封筒(24cm×33cm、郵便切手210円分を貼ったもの)を同封して愛知県立農業大学校に申し込んでください。

また、インターネットホームページにも掲載してあります。

農業大学公式HP

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



Instagram



所在地と交通案内

〒444-0802

岡崎市美合町字並松1-2

TEL 管理課 (0564)51-1601

学務科 (0564)51-1602

農学科 (0564)51-1673

企画研修部 (0564)51-1034

FAX (0564)51-4831

- ・名鉄美合駅下車 徒歩約10分
- ・東名岡崎インターチェンジから車で約10分
- ・JR岡崎駅下車 名鉄バス「東岡崎(緑丘経由)」か「市民病院(美合経由)」行きで「平地」下車 徒歩約5分

